

次第

■こども未来課長挨拶

■議事

- (1) 保育現場の働き方改革研究会報告書について
- (2) その他 (ICT化による保育業務の効率化について)

■報告書手交式について

議事(1) 保育現場の働き方改革研究会報告書について

- ・報告書の内容について、最終確認を行った。
- ・報告書のポイントとしては、賃金や処遇を除く、保育現場特有の6つの課題ごとに、現場でできる効果的な改善策を整理したこと。それから、改善策をより効果的に実践していくためには行政機関の支援が必要だということを確認した。
- ・認定こども園においては「保育教諭」と呼ぶが、今回は「保育士」と統一することで了承を得た。

議事(2) その他 (ICT化による保育業務の効率化について)

- 野本委員から、自園のICT導入の経緯や効果について、資料により報告があった。
 - ・導入のきっかけは、保育士確保が難しくなっている現状等を踏まえ、生存戦略、経営戦略の一つとして開始。
 - ・ノーコンタクトタイム(保育室から離れて休憩)とバケーション休暇の導入を園長が宣言し、まず、自分たちの仕事の「見える化」を行った。
 - ・時間の捻出にはICTが最も有効であり、登降園管理システムは17分/日、保育指導計画作成システムは90分/月、連絡帳アプリは15～45分/日ほどの短縮効果が見られた。
- 連絡帳アプリはスマホで簡単に入力できるものだが、音声入力ができること更に効率化になるとの意見もあった。